



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2016年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。

日銀がマイナス金利

市場混乱受け追加緩和

日銀は29日、金融政策決定会合を開き、民間銀行が日銀に預けている資金に手数料を課すマイナス金利の導入を決めた。原油安で物価は伸び悩み、年明け以降の市場混乱で景気の先行き不安が強まっているため、金利

を一段と引き下げる追加緩和を決めた。マイナス金利には副作用も大きく、デフレ脱却を実現できるか依然不透明だ。日銀は2013年4月以降、世の中に出回る資金量を拡大する大規模緩和を実施してきた。だが

日銀が掲げる2%の物価上昇目標の達成にめどが立たず、政策の継続が困難になってきたため、方針を大きく転換した。

日銀はこれまで民間銀行からの預金に対し年0・1%の利息(付利)を付けていたが、今後はマイナス0・1%とし手数料を取る。マイナス金利

は欧州中央銀行(ECB)が適用している。銀行貸し出しを増やし、金利低下や円安を促す効果があるとされている。

黒田東彦総裁は決定会合終了後の午後に記者会見し、経済情勢や物価動向の見解を示した上で、金融政策の決定理由を説明する。



日銀本店に入る黒田総裁 29日午前



マイナス金利

金利を通常とは逆にマイナスにすること。中央銀行が市中銀行から受け入れる預金の金利に適用する場合がある。通常なら銀行はお金を預けることで金利を受け取れるが、マイ

ナス金利の下では逆に手数料を払う形となる。銀行は中央銀行にお金を預けると損をしてしまうので、企業に積極的に貸し出す金融緩和効果が期待できる。現在は欧州中央銀行(ECB)が採用している。